

家庭科における生活文化の伝承に関する教材研究 — 副読本の作成と授業実践における活用 —

Development of teaching materials for Japanese clothes and house in home economics

五藤由樹・夫馬佳代子

GOTOU Yuki, FUMA Kayoko

要約

中学校の家庭科では、衣生活において、自分らしく目的に合わせた着方を考える際に、浴衣の着方や和服の文化について扱い、住生活においては、家の仕事や気候風土によって違う住まいの外観や住まいの空間と使い方を知るなどして、日本の衣服や住まいについて学び、自分の生活を見つめ直すように取り組まれている。

本研究では、日本の生活文化の特質を考える上で、時代ごとや気候ごとにおける衣生活及び住生活について考え、自分の生活を見つめ直すことを目的とした教材（副読本）を作成した。

本報では、本教材を用いた授業構想及び教材（副読本）内容、授業における教材の効用の一部について報告する。

1. はじめに

家庭科において、日本の衣服と住まいについては、中学校及び高等学校で一部取り扱われている。しかし必ずしも、日本の衣服と住まいとしての総合的な視点ではなく、衣生活では、自分らしく目的に合わせた着方を考える際に、浴衣の着方や和服の文化について少しだけ扱い、住生活では、家の仕事や気候風土によって違う住まいの外観や住まいの空間と使い方を知るなど、各生活場面で個々に取り扱われている。衣生活及び住生活に関しては、平成 20 年学習指導要領において中学校段階では「C 衣生活・住生活と自立」と扱われるが、世界の衣服と住まいについては、同じ頁に記載されていることはあるが、日本の衣服や住まいについては、違う頁に記載されている。そのため、比較したり関連したりしながら学ぶことは少ないと考える。平成 30 年改訂でも、小中学校段階の家庭科において、日本の伝統的な生活文化の伝承は、重要な学びとして位置づけられている。

本報では、多様な生活を見つめる入口として教材（副読本）「日本の衣服と住まい」を作成することを目的とし、試作した教材（以下文中では「テキスト」とのみ表現・記載する）を用いた授業実践を通して、テキストの内容に関し検討する段階について報告する。

具体的に本報で報告する内容は、テキスト「日本の衣服と住まい」を活用した授業構想及び試作したテキストの内容構成、テキストに記載する日本の衣服と住まいに関する生徒の認識・知識、テキストの効用について記載する。一連の研究に基づき、副読本「日本の衣服と住まい」を作成したのもも記載する。

2. 研究方法

1) 授業の構想

本研究では、日本の衣服と住まいに関するテキストの作成を前提とした、試作本の検証を目的としている。そこで、資料1に試作本を用いた授業の構想を指導案の形で示す。具体的な授業構想については後述する。

2) テキストの構想

教材として活用するテキストの試作本を作成する。日本の衣服と住まいについて、生活の中の実態調査、文献調査などに基づき、テキストを作成した。

テキストの中に記述欄を設け、個別学習にも活用できるよう工夫した。

3) テキストを用いた授業実践

試作テキストを用いた実践授業協力校は、岐阜県下のA中学校2学年(4クラス)とした。衣生活及び住生活の基本を学び終えた12月に発展課題として本授業に取り組んだ。

4) 授業実践をもとにしたテキストの修正

試作テキストを用いた授業実践の授業分析をもとに、副読本「日本の衣服と住まい」を完成させる。完成したテキストの内容構成及び教育的効用についても後に紹介する。

3. テキストを用いた授業構想

1) 全体の流れ

授業構想として全1時間を予定する。資料1は、テキストを用いた授業の構想として計画した指導案を示す。実際の授業でも用いたものである。

テキストを用い、調べ学習を行う1時間とした。導入部分で、今ある知識を自分自身で確認するために事前アンケートを行う。展開では、テキストを用い、「和服・洋服」、「和室・洋室」の特徴をイラストや写真から考える。そして、時代ごとの衣服や住まいの資料から調べ学習を行い、世界の衣服や住まいについても資料から調べ学習を行う。こうした活動を支援するのに効果的な教材として用いるのが本テキストである。

ねらい	学習活動	留意点	教材
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の調として、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>「日本の衣服と住まいについて知る」</p> <p>○和服と洋服の特徴について考え、交流する。</p> <p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の調として、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>p.23</p> <p>○和服・洋服の特徴</p>
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p>	<p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>○和服・洋服の特徴</p>
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p>	<p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>○和服・洋服の特徴</p>
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p>	<p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>○和服・洋服の特徴</p>
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p>	<p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>○和服・洋服の特徴</p>
<p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p> <p>○和服と洋服の特徴について考えることができる。</p>	<p>【和服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 <p>【洋服】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 ・和服の調は、和服の調を和服の調にする。 	<p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p> <p>○和服と洋服の特徴を比べながら、和服と洋服の調を和服の調にする。</p>	<p>○和服・洋服の特徴</p>

資料1. 日本の衣服と住まい 指導案

4. 授業の分析方法

授業の分析には、資料2に示す「学習プリント」、及び資料3に示す「授業前アンケート」を基に考察する。

具体的な分析方法として、資料2「学習プリント」では和服・洋服の特徴を考えて書く欄、和室・洋室の特徴を考えて書く欄、時代ごとの衣服や住まいの資料を見て分かったことや気づいたことを書く欄、世界の衣服と住まいについて4つの気候の中から1つ選び、その気候の衣服と住まいについて分かったことや気づいたことを書く欄を製作したため、それぞれの欄の記述で、衣服と住まいについて関わりを

4 世界の衣服・住まい

世界の伝統的な衣服・住まいは、それぞれの気候風土や歴史、文化、宗教などの影響を大きく受けている。それぞれの特徴を見ていきましょう。

熱帯

- ①セネガル
- ②ブルキナファソ
- ③トーゴ
- ④ウニヤ
- ⑤インド
- ⑥ジャマICA
- ⑦ベトナム
- ⑧インドネシア
- ⑨バプアニューギニア
- ⑩フィジー

乾燥帯

- ⑪トルコ
- ⑫イラン
- ⑬サウジアラビア
- ⑭カタール
- ⑮モンゴル
- ⑯中国(乾燥帯・冷帯)
- ⑰オーストラリア

温帯

- ⑱イギリス
- ⑲フランス
- ⑳オランダ
- ㉑ドイツ
- ㉒イタリア
- ㉓ポルトガル
- ㉔ブルガリア
- ㉕ポーランド
- ㉖韓国・朝鮮
- ㉗ペルー
- ㉘ロシア

寒帯

- ㉙カナダ

冷帯

- ㉚ノルウェー
- ㉛スロバキア
- ㉜ロシア
- ㉝アラカ
- ㉞アメリカ

熱帯

熱帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。

①セネガル

<衣> 色鮮やかで、透気性のあるゆったりとした丈の長い布。首には、汗を拭き、暑さを防ぐためターバンを巻く。

<住> 壁に土と、井戸を掘って雨水を貯蔵し、雨水を利用する工夫をしている。

②ブルキナファソ

<衣> 全体が黒綿に包まれた家屋は、壁の色が黒。壁に土が乾いた状態は女性によるもの。家の修復は女性の仕事。

③トーゴ

<衣> 遠くから運来された布で、足で踏まれる土質の土を踏み上げて作った家。層下には、扇などの家具を飾っている。

④ウニヤ

<衣> マイカは「カンパ」と呼ばれる大きな布を、体に二重に巻く。

⑤インド

<衣> 「サリー」と呼ばれる大きな布の帯を体に巻きつけて着る。現在でも結婚や祭りでサリーを着ている。

⑥ジャマICA

<衣> 男性も女性も通気性のよい麻製の布を身に巻いている。麻は、乾燥性に優れた木綿が多い。

⑦ベトナム

<衣> 「アオザイ」とは長い筒袖という意味で、ふらはぎから足首まで覆う。奥の裾は、奥の裾を縫って生糸を縫い、糸に強いマングローブの木で糸を支え、刺繍で、帯子の裏で縫製を作る。

⑧インドネシア

<衣> アニスは、基本的に衣服を作る材料でない。男性はバネース、女性は帯の帯を巻く(バネース)。

⑨バプアニューギニア

<衣> 椰子の葉で屋根や壁が作られる。建物は、椰子の葉で編んだ網のようになっている。

⑩フィジー

<衣> オセアニアは島国が多く、多岐にわたる必要がない。服装は木の皮や椰子の葉で作った履き物。女性は木の皮や椰子の葉で作った履き物。女性は木の皮や椰子の葉で作った履き物。

乾燥帯

乾燥帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。

⑪トルコ

<衣> 伝統的な衣装はシルクロードのシルクロード。ウエストのサイズに調整して、ゆったりと着る。ズボンが細いので、ロングスカートのように見える。

⑫イラン

<衣> パルサーは、パルサー山脈にちなみ、山脈の上にある。冬は雪が降り、夏は暑くなる。冬は雪が降り、夏は暑くなる。冬は雪が降り、夏は暑くなる。

⑬サウジアラビア

<衣> イスラム教に由来する。女性は全身を覆う黒い布を着る。女性は全身を覆う黒い布を着る。女性は全身を覆う黒い布を着る。

⑭カタール

<衣> 砂漠の多いこの地域では、ペールやターバン、ゆったりとした衣服で、日差しや熱を避けようとしている。

⑮モンゴル

<衣> 重たい布が長く、ゆったりしているのが特徴。冬は毛皮のブーツをはき、夏は軽便な靴をはく。

⑯中国(乾燥帯・冷帯)

<衣> 地下の家。地上に見えるのは換気扇、グレートピクトリア砂漠の緑の気候は、夏は非常に暑い。冬は非常に寒い。地下は温度変化が少ないため快適に過ごせる。

⑰オーストラリア

<衣> 地下の家。地上に見えるのは換気扇、グレートピクトリア砂漠の緑の気候は、夏は非常に暑い。冬は非常に寒い。地下は温度変化が少ないため快適に過ごせる。

温帯

温帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。

⑱イギリス

<衣> 男性は「キルト」と呼ばれるタータン(チェックの模様)のスカートをはき、女性もスカートをはく。男性のスカートは、女性よりも長く、裾が広がっている。

⑲デンマーク

<衣> 薪の木の村を建てた家。平らな海をよって、薪の木の村を建てた家。平らな海をよって、薪の木の村を建てた家。

⑳オランダ

<衣> レースの帽子と縞模様のエプロンが特徴で、足にはクレンとよばれる木製の靴を履く。今では、靴に代わり、足元の靴を履く。今では、靴に代わり、足元の靴を履く。

㉑フランス

<衣> 風が強く降水量も多いため外装は石で覆われ、壁は厚く、冬は暖かい。壁は厚く、冬は暖かい。壁は厚く、冬は暖かい。

㉒イタリア

<衣> 壁も厚く、地中で作られた石造りで作られた家。壁も厚く、地中で作られた石造りで作られた家。

⑳ノルウェー

<衣> 暖かいウールの衣服を着る。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉓スロバキア

<衣> 牧畜業の多い家。石炭で伝統的な薪ストーブを置く。

㉔ロシア

<衣> 男性は「パルサー」と呼ばれるゆったりとしたジャケットを着る。冬は、厚いブーツの上から「サウラン」と呼ばれるジャンパー・コートをはく。

㉕アラカ

<衣> アラカは、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉖アメリカ

<衣> アラカは、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉗ペルー

<衣> 織物の家屋が大きい。保温性の高いウールで作った、厚手のコートや帽子を着用している。

㉘ロシア

<衣> トラウゼンという、動物の皮で作られた、防寒性が高いコート。冬は、動物の皮で作られた、防寒性が高いコート。

冷帯

冷帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。

㉚ノルウェー

<衣> 暖かいウールの衣服を着る。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉓スロバキア

<衣> 牧畜業の多い家。石炭で伝統的な薪ストーブを置く。

㉔ロシア

<衣> 男性は「パルサー」と呼ばれるゆったりとしたジャケットを着る。冬は、厚いブーツの上から「サウラン」と呼ばれるジャンパー・コートをはく。

㉕アラカ

<衣> アラカは、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉖アメリカ

<衣> アラカは、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

㉗ペルー

<衣> 織物の家屋が大きい。保温性の高いウールで作った、厚手のコートや帽子を着用している。

寒帯

寒帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。

㉘ロシア

<衣> トラウゼンという、動物の皮で作られた、防寒性が高いコート。冬は、動物の皮で作られた、防寒性が高いコート。

㉙カナダ

<衣> アラカは、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。冬は、羊の毛皮の靴をはく。

テキストの構想について述べる。

まず 2 頁では、和服と洋服のイラストを見て、和服と洋服の特徴を考えるようにし、特徴として考えたことを書く欄をイラストの下に作成した。裏の 3 頁には、和服と洋服の違いを知るために、構成、サイズ、着方についてどのような特徴があるのかを記載した。4 頁では、和室と洋室の写真を見て、和室と洋室の特徴を考えるようにし、特徴として考えたことを書く欄を写真の下に作成した。和室と洋室の違いを知るために、使い方や動作についてどのような特徴があるのかも記載した。

5 頁, 6 頁, 9 頁～11 頁では、衣服・住まいの年表を載せた。衣服と住まいを上下で同時に時代ごとに見ることができるため、衣服と住まいをつなげて考えやすくなると考える。また、主なその時代の出来事として、衣服や住まいの変化と関わりがありそうな出来事も載せた。7 頁, 8 頁は、平安時代の衣服と住まいを載せた。寝殿造は開放的な住宅であり風通しがよく、夏は涼しく、冬は寒い住まいであったため、夏は着物を少なくし、冬は何枚も重ね着する習慣が発達し、十二単が生まれたというように、平安時代の衣服である十二単と住まいの寝殿造が関わりあっていることから、衣服と住まいの関わりを考えやすいと考え、平安時代の衣服と住まいをさらに詳しく取り上げた。

12 頁～15 頁は、世界の衣服と住まいの写真を気候ごとに記載した。それぞれの気候の衣服や住まいを見て気づいたことを記入できるように、気候ごとの衣服や住まいの特徴を書く欄も作成した。日本の衣服と住まいだけでなく、他国の衣服や住まいはどのような特徴があり、日本とどのようなところが違うのか考えるようにした。

6. 授業分析結果

1) 事前アンケート、学習プリントの調査項目

事前アンケートと学習プリントの一部から、時代ごとの日本の衣服と住まい、世界の衣服と住まいについて、どれだけの知識をつけることができたのかを分析するため、以下の項目を調査した。

① 事前アンケート

- 1: 「日本の昔の衣服」(縄文時代, 平安時代などの人はどのような衣服を着ていたか)
- 2: 「日本の昔の住まい」(縄文時代, 平安時代などの人はどのような住まいに住んでいたか)
- 3: 「世界の衣服」(暖かい地域, 寒い地域などの人はどのような服を着ているのか)
- 4: 「世界の住まい」(暖かい地域, 寒い地域などの人はどのような住まいに住んでいるのか)

② 学習プリント

- 1: 「日本の衣服と住まい」について分かったこと, 気づいたことを書きましょう。
- 2: 「世界の衣服と住まい」で熱帯, 乾燥帯, 温帯, 冷帯・寒帯の4つの中から好きな気候を一つ選び, その気候の衣服と住まいについて分かったこと, 気づいたことを書きましょう。

2) 調査結果 時代ごとの日本の衣服と住まい

図1は、上記で示した事前アンケートの項目1, 2, 学習プリントの項目1の評価をグラフで示したものである。事前アンケートの項目1, 2より、日本の昔の衣服と住まいのどちらとも具体的に記述でき

ていたものを「両方具体的」、どちらか片方だけが具体的な記述があったものを「片方具体的」、この2つに当てはまらないものを「該当なし」の3段階で評価した。学習プリントの項目1については、衣服や住まいについて時代ごとにどのような特徴があるのかやどのように変化しているかが具体的に記述してあるものは「具体的に書くことができる」、衣服か住まいかどちらかについてしか書いていないか、和から洋に変化したという具体的な記述がなく、イメージが記述してあるものは「イメージすることができる」、**「記述なし。」**の3段階で評価した。

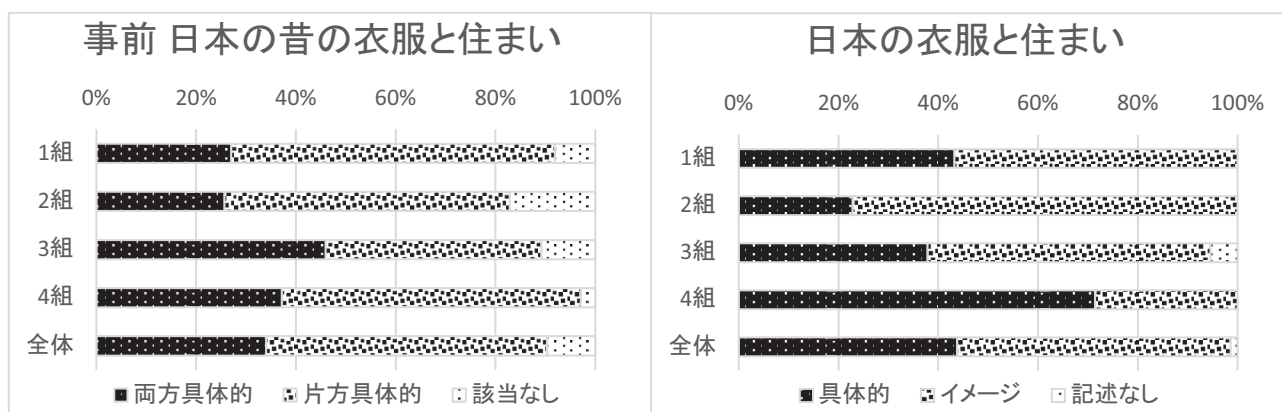


図1. 時代ごとの日本の衣服と住まいの調査結果 (事前・学習プリント)

図1より、事前アンケートでは全体の約3割の生徒が日本の衣服と住まいについて具体的な記述ができていたという結果が出た。また、学級ごとに比較すると、3組が約4割、次いで4組、1組と2組が3割に届かない割合となった。学習プリントでは全体の約4割の生徒が具体的に記述でき、学級ごとで見ると、4組の7割が最も大きく、次いで1組と3組の4割、2組の2割という結果になった。

衣服についても住まいについても具体的に記述するとなると、2組、3組は割合が小さくなったことが分かった。1組、4組は具体的に記述できる生徒がとも増えた。4組が具体的に記述でき、2組が具体的に記述ができなかった理由として考えられるのは、学習環境が違ったためであると考えられる。4組は静かに個人で活動する生徒がほとんどであったが、2組は周りの生徒と話しながら考えている生徒がいた。テキストの効果というよりも、環境が違ったための結果が出ていると考える。

また、事前アンケートでは記述なしの生徒も多かったが、学習プリントでは、記述なしの生徒は、若干はいるが少なくなった。イメージできる生徒や衣服と住まいのどちらかだけでも具体的に記述することができる生徒が増えた。記述なしの生徒が減った面では、テキストの効果が表れていると考える。

衣服と住まいで欄をわけずに書くようにすることで、生徒それぞれの興味を持った部分を書くと考えたが、衣服と住まいの両方を関連させて興味を持つという生徒は、全体で4割しかいなかったため、衣服と住まいの両方に興味を持たせるために、写真やイラストを大きくして見やすくするなど、読みやすい工夫をして、テキストを改善する必要があると分かった。

3) 調査結果 世界の衣服と住まい

図2は、上記で示した事前アンケートの項目3, 4, 学習プリントの項目2の評価をグラフで示したものである。事前アンケートの項目3, 4より、世界の衣服と住まいのどちらとも具体的に記述できていたものを「両方具体的」、どちらか片方だけが具体的な記述があったものを「片方具体的」、この2つに当て

はまらないものを「該当なし」の3段階で評価した。学習プリントの項目2については、衣服や住まいについて気候ごとにどのような特徴があるのかを具体的に記述してあるものは「具体的に書くことができる。」、衣服か住まいかどちらかについてしか書いていないか、具体的な記述がなく、イメージが記述してあるものは「イメージすることができる。」、「記述なし。」の3段階で評価した。

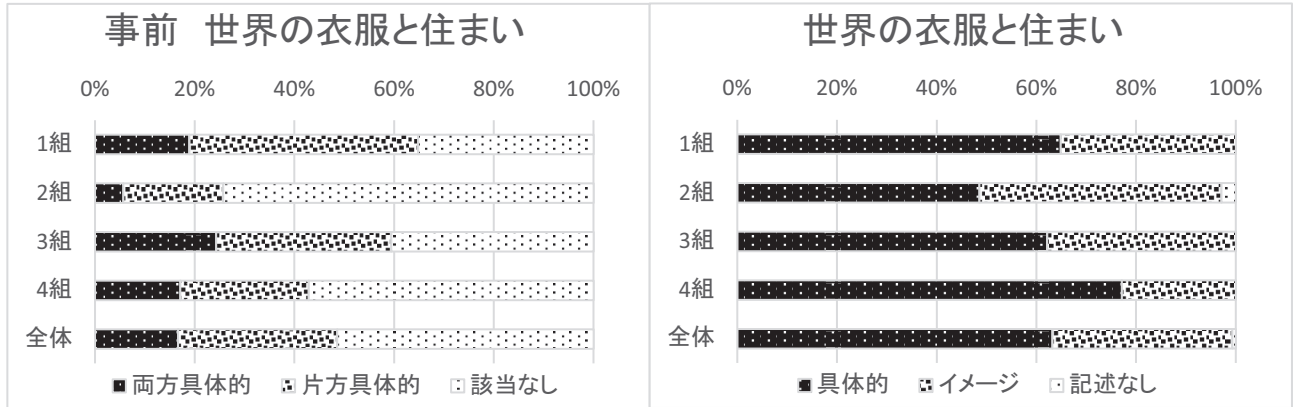


図2. 世界の衣服と住まいの調査結果 (事前・学習プリント)

図2より、事前アンケートでは世界の衣服と住まいについて具体的に記述できているのは、全体の2割以下の生徒しかいなかった。また、学級ごとに比較すると、3組が約2割、次いで1組、4組、そして2組が1割に届かない割合であった。学習プリントでは、世界の衣服と住まいについて具体的に記述していた生徒の割合は全体的に6割いた。日本の衣服と住まいについての記述よりも多い。学級ごとで比較すると、4組の8割が具体的に記述していた生徒の割合が最も大きく、次いで1組、3組の6割、2組の5割となった。日本の衣服と住まいについての記述の学級ごとの比較と同じ順で具体的な記述をしている生徒の割合が大きい。

事前アンケートと学習プリントを比べてみると、どの学級も副読本を使うことで世界の衣服と住まいについて具体的に記述できるようになっている生徒が増えていることが分かる。また、記述なしの生徒は、若干はいるが少なくなった。イメージできる生徒や衣服と住まいのどちらかだけでも具体的に記述することができる生徒が増えた。

全体で6割の生徒が世界の衣服と住まいについて具体的な記述をすることができたが、4割の生徒のためにも、写真を大きくして見やすくしたり、たくさんの国というよりかは、特徴がある国を選別し、さらに衣服や住まいの特徴を関連させて考えることができるように改善する必要があると分かった。

7. 副読本「日本の衣服と住まい」の構成

生徒の学習プリントを分析して見えてきた改善点をもとに副読本を完成させた。完成した副読本で特に改善を加えた一部を資料4に示す。主な改善点として、①イラストや写真を見やすくするため、大きくする。②キーワードとなる文字に、カッコをつけるなどして強調する。また、文字数が多くて見にくい所は、簡潔に述べる。③考える活動を行うページには、イラストや写真だけでなく、考えるべきことのヒントとなるつぶやきを載せる。の3点を改善した。

章ごとに改善したところを見ていくと、まず第1章である和服・洋服の特徴では、イラストだけで特徴を考えることは難しいと考えられるため、「それぞれどのように着るのかな?」、「サイズを調節しやすいのはどっちかな?」、「帯を使うかな?ベルトを使うかな?」といった、考える際にヒントとなるつぶやきを記載した。また、特徴の例を示してあるところで特に大事な文には下線を引いた。第2章の和室・洋室の特徴では、写真だけで特徴を考えることは難しいと考えられるため、「どっちの部屋が使いやすいかな?」、「それぞれの部屋でどこに座るかな?」、「おじいちゃん、おばあちゃんにはどっちの部屋が良いかな?」といった、考える際にヒントとなるつぶやきを記載した。また、特徴の例を示してあるところで、特に大事な文には下線をを引き、特徴となるイラストを載せた。特徴の例を、考えたことを書く欄と同じページに載せていたが、違うページにした。第3章の日本の衣服と住まいでは、どのようなことを考えながら、時代ごとの衣服や住まいを見ていくと良いのかを、初めのページに示した。また、時代ごとに特徴となる文に下線を引き、特徴が見つかりやすいようにした。写真やイラストを大きくして、見やすくした。第4章の世界の衣服と住まいについては、たくさん国があると、気候ごとの特徴が考えにくいと考えられたため、一部の国を除き、衣服や住まいに特徴が見つかりやすい国を記載することにした。また、キーワードとなる文字にカッコをつけたり、特徴に下線を引いたりして、気候ごとの衣服や住まいの特徴を見つけやすいように工夫した。

1 和服・洋服の特徴

和服と洋服の違いは何だろう?

皆さんは毎日、どのような服装をしていますか。ほとんどの人は、Tシャツやズボンなどの「洋服」を着ているでしょう。しかし、夏祭りやお正月などには、日本の伝統的な衣服である、はつぴや浴衣などの「和服」を着ることもあるでしょう。「和服」と「洋服」の違いはどこにあるのでしょうか。それぞれの特徴を考えてみましょう。

	和服	洋服
例	<p>サイズ調節しやすいのはどちらかな?</p> <p>それぞれのよに帯を使うかな?</p>	<p>それぞれのよにベルトを使うかな?</p>
特徴を書いてみよう。		

和服と洋服の違いは何だろう?

皆さんの服にはどのような特徴がありますか。服装、食事、台所、個人生活の空間などの住居に必要なのは、生活の仕方や好みによって異なり、「和室」であったり「洋室」であったりします。「和室」と「洋室」の違いはどこにあるのでしょうか。それぞれの特徴を考えてみましょう。

	和室	洋室
構成	<p>「天井」「柱」「畳」など、各部を構成する四角い形の部材を「墨組」に組み合わせて作る。</p> <p>・平面墨組</p>	<p>「壁」「床」「天井」など、各部を構成する四角い形の部材を「墨組」に組み合わせて作る。</p> <p>・立体墨組</p>
サイズ	<p>・サイズにゆとりがあり「ひも」や「帯」を使って、高さや幅を調節する。</p> <p>・着る人の体型に合わせて着替えることができる。</p>	<p>・サイズによって、着ることが出来る人が限られる。</p>
着方	<p>・右と左の布を重ねて、ほつけないように「ひも」や「帯」で締める。</p> <p>・「帯」が大きく体に巻いて着る。</p> <p>・足り穿の前で前めかき合わせて着る。着物の右側のえりをまず体に当て、その上に左側のえりを重ねるようにする。この合わせ方を「右前」といいます。男性も女性も右前に巻くのが正しい着方である。</p>	<p>・「ボタン」や「ファスナー」で留めている部分をしめたり、「ベルト」を締めたりする。</p> <p>・胸や腰、体を包み込むように着る。</p> <p>・男性は左前を右前に巻くが、女性はその逆になる。</p>
特徴を書いてみよう。		

2 和室・洋室の特徴

和室と洋室の違いは何だろう?

皆さんの家にはどのような部屋がありますか。居間、食事室、台所、個人生活の空間などの住居に必要なのは、生活の仕方や好みによって異なり、「和室」であったり「洋室」であったりします。「和室」と「洋室」の違いはどこにあるのでしょうか。それぞれの特徴を考えてみましょう。

	和室	洋室
例	<p>それぞれの部屋でどこに座るかな?</p>	<p>おじいちゃん、おばあちゃんにはどっちの部屋が良いかな?</p>
特徴を書いてみよう。		

使い方

・料理を時や場合に応じて様々な目的に使う。

・湯の保温性や弾力性が、風呂の生活に合う。

・「畳」、「ふすま」、「障子」など、備わっているものが多く手入れが大変。

動作

・高い位置の正面やあぐらなどは、足腰に負担がかかることがある。

・広がり過ぎた椅子、デスク、姿勢が楽である。

3 日本の衣服・住まい

前のページで和服と洋服、和室と洋室について見てきましたが、昔の人は皆さんと同じように和服や洋服と呼ばれる服を着たり、和室や洋室と呼ばれる部屋で生活を送っていたのでしょうか。次のページから、時代ごとの衣服や住まいを見ていきましょう。時代によって、どのような衣服を着ているのか、どのような住まいに住んでいるのか、時代が変わるにつれてどのように変化しているのかを見ていきましょう。

4 衣服・住まいの年表

年表	衣服	住まい
古	<p>布つくりがはじまる。織物の業の技から染をつくり、その染を織り込んでいた。しつけや縫製、縫製が種々なアサアサを身につけていた。</p>	<p>穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。</p>
中	<p>天竺から織物の技術が伝わり、織物が生活するようになってきた。織物は生活するようになってきた。織物は生活するようになってきた。</p>	<p>穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。</p>
近	<p>上流階級の人々はヨーロッパ風の衣服を着ていた。高貴な階級の人々はヨーロッパ風の衣服を着ていた。高貴な階級の人々はヨーロッパ風の衣服を着ていた。</p>	<p>穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。穴を掘って住居をつくり、土を盛り上げて平らにした。</p>

平安時代の衣服・住まい

女衣服

十二単って何だろう？

「十二単」は平安時代に、宮廷や貴族の妻につかえた女性たちが着た衣服で、正しくは「女御服装」といいます。着物の前身と言われています。

住まいや気度が知識になり、貴族の好みを反映した日本独自の優雅なものに変わっていった。十二単は生まれました。十二単の内着として今の着物の原型である「小袖」もできました。「小袖」とは、十二単のような袖口の大きい大袖の衣服に対し、袖口の小さい衣服のことです。反袖の衣服は保溫にむかないため、反袖として小袖を穿きました。



日本の風土にあった重ね着

十二単の大きな特色は、重ね着をすることです。衣服を何枚も重ねることは、当時の保溫達の生活様式にあったものであり、また豊かさを感じていました。

十二単 ○ 衣服を何枚も重ね着することからつけられた名称
× 12枚重ねて着る

着る衣服は、暑さや寒さに応じて枚数を調整していました。紐を20枚重ねるときもありましたが、平安時代末ごろには枚数が普通になり、互改と呼ばれるようになりました。

小袖 → 袴 → 履 → 鞋(敷物) → 襦袢 → 唐衣(裳)の順に着ます。

4 世界の衣服・住まい

世界の伝統的な衣服・住まいは、それぞれの気候風土や歴史、文化、宗教などの影響を大きく受けている。それぞれの特徴を見ていきましょう。



<p>熱帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ①セネガル ②トーゴ ③ケニア ④インド ⑤ペトナム ⑥インドネシア ⑦バブアニューギニア 	<p>温帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧イギリス ⑨デンマーク ⑩オランダ ⑪フランス ⑫タイ ⑬ベルギー ⑭イタリア ⑮ポーランド ⑯韓国・朝鮮 ⑰ペルー 	<p>冷帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑱スウェーデン ⑲ロシア ⑳ロシア ㉑アラスカ ㉒アメリカ
--	---	--

乾燥帯

- ㉓トルコ
- ㉔イメン
- ㉕サウジアラビア
- ㉖カタール
- ㉗モンゴル
- ㉘中国(乾燥帯・冷帯)
- ㉙オーストラリア

熱帯

熱帯での衣服・住まいを見て、気づいたことを書きましょう。



①セネガル
<衣> 季節や地域で、通気性の高い素材を使った丈夫の長い筒状の服には、汗を拭く、暑さ・涼さを防ぐためのターバンや巻く。
<住> 海に近く、井戸を掘っても水分が極く生活用水に届かない村では、雨水を利用する工夫をしている。

②トーゴ
<衣> 広くてとれる粘土製の土を積み上げて作った家。層下には、睡蓮などの家畜を飼っている。

③ケニア
<衣> マサイ族は「カンガ」と呼ばれる大きな布を、腰に二重に着る。
<住> 「ワット」と呼ばれる大きな「熱の蓄え」に火を燃やして暖を取る。現在でも農場や家畜でセラーを営んでいる。

④インド
<衣> 「ワット」と呼ばれる大きな「熱の蓄え」に火を燃やして暖を取る。現在でも農場や家畜でセラーを営んでいる。

資料 4. 副読本「日本の衣服と住まい」 【2頁～7頁, 9頁, 14頁, 15頁】

8. おわりに

本研究では、時代ごとや気候ごとにおける衣生活及び住生活について考え、自分の生活を見つめ直すことを目的に、試作テキストを作成し、その教育的効用について授業実践に用いて検証したものである。授業実践の結果をテキストに反映して、完成することを目的としている。

テキストを用いた授業実践の結果、試作テキスト「日本の衣服と住まい」の内容で取り扱った時代ごとの日本の衣服と住まいや世界の衣服と住まいについて、事前と授業実践において記述に差が見られた。このことから、時代ごとや気候ごとに衣服と住まいをまとめて記載することで、衣生活と住生活を関連して考えやすくなるため、日本の衣服と住まいを紹介したテキストの導入により、より授業の支援に幅が広がる可能性が見られた。

現在、衣生活と住生活を関連させた授業は、あまり行われていないが、身近な生活を考える上で、関連させていくことは必要である。また、食生活も含めた、衣食住での関連が表されている副読本などの開発を行い、授業で衣食住を関連させた学習が行われる必要があると考えられる。

なお、本研究の授業実践にご協力頂きました岐阜大学教育学部附属中学校の皆さまに厚く御礼申し上げます。